

# 2020年12月期 通期決算

## 株式会社N・フィールド

### 1. 企業情報と沿革

1. 会社概要と提供サービス
2. 沿革と医療改革の歴史

### 2. 外部環境

少子高齢化に伴う精神科訪問看護ビジネスへの期待

### 3. 精神科訪問看護サービス

1. 訪問介護と訪問看護の違い
2. 専門知識と豊富な経験が必要な精神科訪問看護師
3. 精神科訪問看護師の一日
4. 精神科訪問看護サービスの体系図

### 4. 2020年12月期\_通期決算

1. 損益計算書〔前年対比〕  
新型コロナウイルス感染症
2. 貸借対照表〔前期末対比〕
3. 事業所数の推移と開設拠点
4. 各種指標

### 5. 株式会社CHCP-HNによる当社株券等に対する公開買付けについて

1. 概要
2. 公開買付者等
3. 背景と効果

### 6. 参考資料

介護保険と医療保険の比較

「会社概要」

名称 株式会社N・フィールド  
設立 平成15年2月6日  
代表者 代表取締役社長 久保 明  
本社 〒530-0004  
大阪府大阪市北区堂島浜1-4-4  
アクア堂島東館4F  
TEL 06-6343-0600  
WEB <http://www.nfield.co.jp/>



医療

訪問看護事業

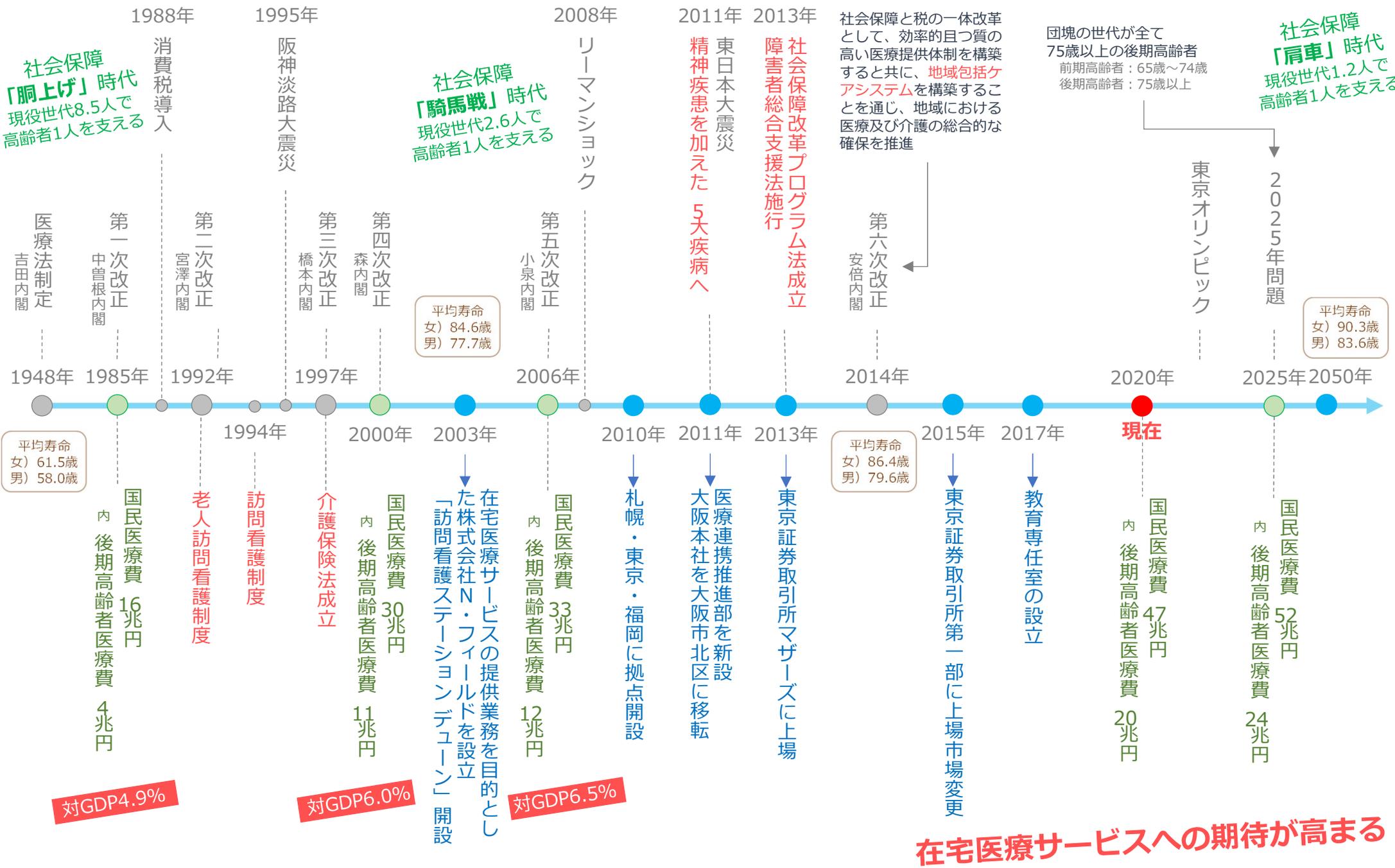
福祉

住宅支援事業

75%  
看護師

企業理念

私たちは、地域社会における在宅医療サービスを通じて、安全・安心・快適な生活環境を創造し、人々のライフプランに貢献します。



在宅医療サービスへの期待が高まる！



\* 平均寿命は死亡率が今後も変わらないと仮定し、その年に生まれた0歳児があと何年生きられるかを表す

\* 情報：「患者調査」厚生労働省\_2017年

# 訪問介護と訪問看護の違い

内容	訪問介護	訪問看護
行為	<p>患者様のご自宅にホームヘルパーが訪問し、生活援助や身体介護を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*生活援助           <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除・洗濯・調理・買い物</li> </ul> </li> <li>*身体介護           <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事・排泄・入浴の介助</li> </ul> </li> <li>*その他           <ul style="list-style-type: none"> <li>・介助付き送迎サービス</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;"> <span style="display: inline-block; border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">生活援助</span> <span style="display: inline-block; border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px; margin-left: 20px;">身体介護</span> </p>	<p>患者様のご自宅に医師から指示を受けた看護師が訪問し、医療行為を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* <b>患者様主体の目標設定</b></li> <li>* <b>傾聴と会話（治療的コミュニケーション）</b></li> <li>* <b>精神症状・健康状態の観察</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>動作・言動・表情の変化</b>    ・バイタルチェック</li> <li>・点滴・採血・注射・消毒    ・専門医療機器管理</li> </ul> </li> <li>*服薬確認・服薬管理    * 飲酒の有無確認    * 環境整備</li> <li>* 清潔保持    * 安否確認    * 緊急時対応    * 関連機関との情報共有</li> </ul> <p style="text-align: center;"> <span style="display: inline-block; border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">医療行為</span> </p> <p>患者様の症状が比較的重く、医療処置を必要とするケースや、より身体機能の改善につながる医療サービスの提供が必要。</p>
資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士    ・訪問介護員</li> <li>・介護職員初任者研修修了者</li> <li>・介護職員実務者研修修了者</li> <li>・介護職員基礎研修修了者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師または准看護師</li> <li>・作業療法士    ・理学療法士</li> <li>・言語聴覚士    ・保健師    ・助産師</li> </ul>
保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険    ・医療保険</li> </ul>

精神科  
訪問看護



精神科  
訪問看護

## 専門知識と豊富な経験が必要！

精神科訪問看護は、一般的な訪問看護に比べて、患者様の動作・言動・表情などの変化を的確に読み取り、それを基に治療的コミュニケーションを取る必要があります。高度な「専門知識」はさることながら長期にわたる豊富な「経験」が必要となる。



### 【疾患】

大学浪人中の20歳で統合失調症を発病。発病当時は病気であることの自覚や家族の理解が得られず、適切な治療を受けることが難しかった。「テレビで自分の悪口が言われている」「誰かに監視・盗撮されている」という妄想が強くなり、23歳の時に精神科病院に入院となる。入院中の適切な治療により、少しずつだが病気と向き合えるようになったが、対人面での恐怖や不安感が強く残っている。

### 【看護】

退院後より訪問看護を開始。本人の辛い気持ちに寄り添い、好きな物・興味のある事を共有しながら信頼関係を構築する。また、他者との付き合い方についても、訪問看護師との関わりの中で成功体験を重ねてもらえるよう、良い点のフィードバックを積極的に行う。治療（服薬）については、適切に行うことで不安な気持ちが軽減することや、「監視されている」という感覚が軽減することを共有する。現在は、将来就職したいという本人の夢をもとに、就労支援センターに通所できることを目標にしている。

〔1〕  
訪問看護

〔2〕  
関連機関への  
情報提供

〔3〕  
利用者への対応  
\*新規利用者獲得  
\*面談/契約/集金

〔4〕  
会議への参加  
\*ケア会議  
\*担当者会議

〔5〕  
電話対応  
\*利用者  
\*医療機関  
\*家族など

〔6〕  
ネットワーク構築  
\*挨拶回り  
\*地域研修会参加

09:00 出社 / ミーティング

10:00 訪問看護①

11:00 訪問看護②

12:00 昼食

14:00 訪問看護③

15:00 ケア会議

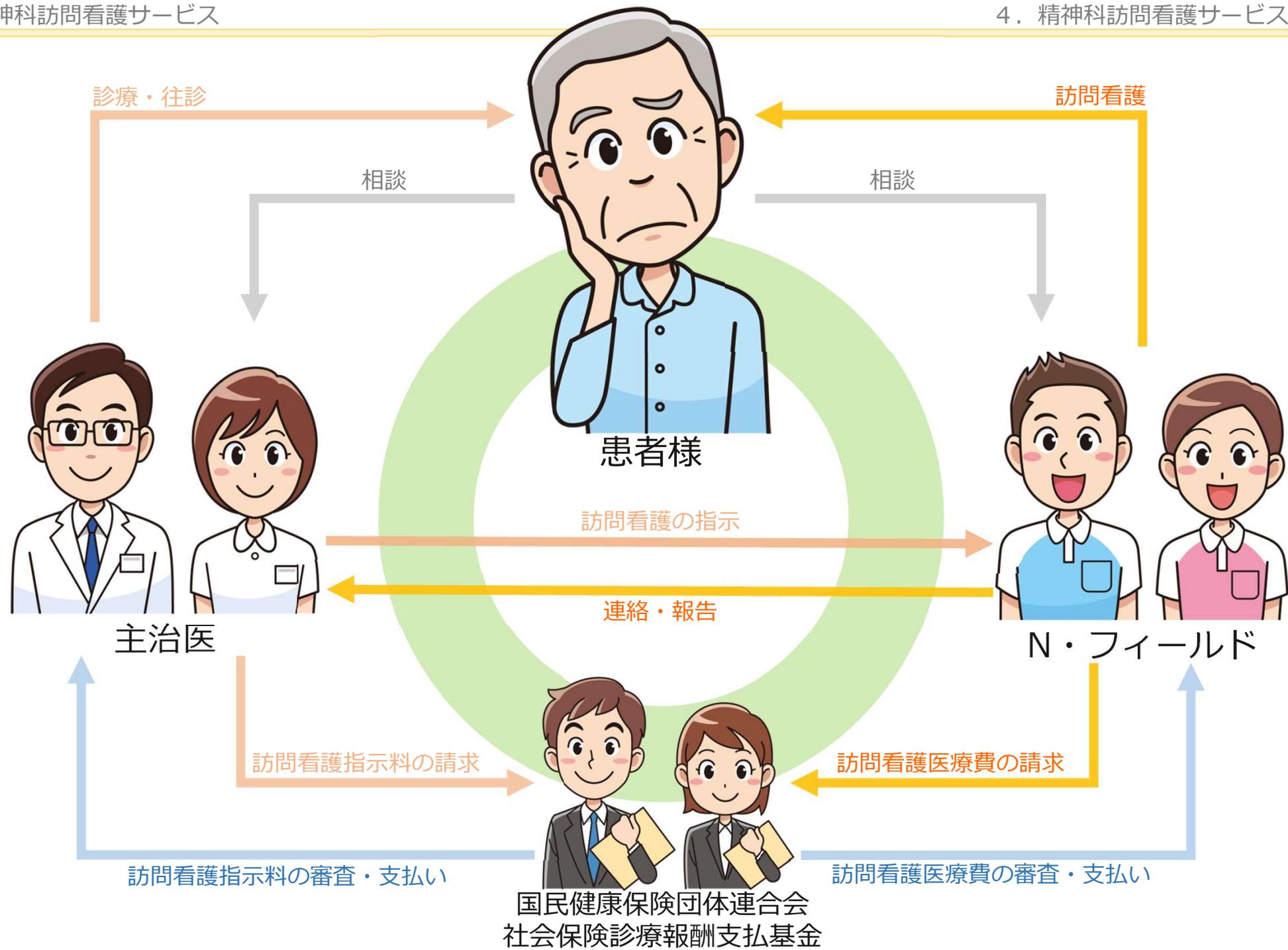
17:00 帰社 PC作業

18:00 業務終了

## 精神科訪問看護師の必要要件

- ① 精神科を標榜する保険医療機関において、  
**精神病棟**または**精神科外来勤務**した経験を1年有する者
- ② 精神障害者に対する**訪問看護**の経験を1年有する者
- ③ **精神保健福祉センター**または**保健所等**における精神保健に関する業務の経験を1年有する者
- ④ 専門機関が主催する精神保健に関する**研修を修了**している者

**要件を満たす看護師のみ  
実施可能！**



単位：百万円

科目	第4四半期										累計額									
	4Q 実績	売上高 対比	4Q 計画	売上高 対比	実績対比		前年	売上高 対比	実績対比		実績	売上高 対比	計画	売上高 対比	実績対比		前年	売上高 対比	実績対比	
					差額	比率			差額	比率					差額	比率			差額	比率
売上高	3,116	100%	3,170	100%	▲54	98%	2,775	100%	340	112%	11,735	100%	11,800	100%	▲65	99%	10,482	100%	1,252	112%
売上原価	2,518	81%	2,630	83%	▲112	96%	2,289	82%	228	110%	9,618	82%	9,850	83%	▲232	98%	8,727	83%	891	110%
労務費	1,924	62%	2,010	63%	▲86	96%	1,734	62%	189	111%	7,329	62%	7,500	64%	▲171	98%	6,651	63%	678	110%
経費	593	19%	620	20%	▲27	96%	555	20%	38	107%	2,289	20%	2,350	20%	▲61	97%	2,076	20%	212	110%
売上総利益	598	19%	540	17%	58	111%	486	18%	112	123%	2,116	18%	1,950	17%	166	109%	1,754	17%	361	121%
販管費	323	10%	290	9%	33	111%	301	11%	21	107%	1,346	11%	1,350	11%	▲4	100%	1,276	12%	70	106%
営業利益	275	9%	250	8%	25	110%	184	7%	90	149%	769	7%	600	5%	169	128%	478	5%	291	161%
経常利益	276	9%	250	8%	26	110%	185	7%	91	149%	773	7%	600	5%	173	129%	481	5%	291	161%
当期純利益	163	5%	110	3%	53	148%	87	3%	76	187%	406	3%	250	2%	156	162%	200	2%	206	203%

## 第4四半期の状況

第4四半期会計期間の売上高は計画に対しては未達であったものの、新規の契約が増加するなど、ご利用者の人数も順調に増加し、稼働も好調に推移しました。この結果、売上総利益率を始め各利益率が向上し、予算比・前年同四半期比で増益となりました。

## 通期での課題への取組みと事業計画の達成状況

当事業年度は①収益性の向上②医療サービスの拡充③アライアンスの強化を重点課題として取り組んでまいりました。具体的には、①稼働の向上に努め、前事業年度比3件増加の90件を達成し、②医療サービス拡充のための多職種連携強化を図り、作業療法士採用の強化及び多職種による当社サービスの地域への浸透強化、③相談支援の拠点及び取扱増加に伴う福祉面での各関係機関との連携強化をそれぞれ行ってまいります。年間を通じて看護師数が計画に満たなかったこともあり訪問看護の売上は計画を下回りましたが、住宅支援や相談支援が寄与し全体の売上高は大きなマイナスとはなりません。一方、稼働が計画を超える水準で推移したことにより利益率が改善、費用面でも看護師数が計画を下回ったことで労務費負担が軽減されたことなどにより、利益面でも計画を上回る実績となりました。

## 新型コロナウイルス対応

当事業年度における新型コロナウイルス感染症による業績への影響としては、緊急事態宣言中にみられた一部ご利用者のキャンセルも、6月以降は概ね解消したこと、また看護師の感染による事業所の一時休止も対象事業所数と休止期間が限定的であったことから、訪問看護の実施に対する大きな影響はありませんでした。一方、過酷な環境下でサービスを提供し続けた従業員に対する感謝金の支給を上期・下期の2度実施しております。引き続き従業員の安全確保、感染予防策の徹底を行いながら事業活動を継続してまいります。

## 1. 新型コロナウイルス感染防止策

- ・利用者 **当社の新型コロナウイルス感染症対策に関する書面を配付**

利用者の不安を軽減し、安心して訪問を受けていただけるよう説明を実施

関係機関との連携

- ・従業員 **時短勤務や直行直帰、自宅近隣拠点での勤務実施**

感染症対策の徹底  
出社前の検温、発熱等の場合は自宅待機

感染機会の抑制  
出張や集合会議の抑制  
在宅勤務の実施（本社事務職員等）

## 2. 新型コロナウイルス関連状況

- ・デューン岸和田 3月21日 **利用者1名**の感染が発覚  
3月24日 看護師3名はPCR検査で陰性  
上記従業員は2週間の自宅待機  
近隣拠点から応援で対応
- ・デューン板橋 6月24日 **従業員1名**が濃厚接触者に該当  
6月25日 上記従業員のPCR検査を実施  
**6月26日 事業所を休止**（翌日に陽性判明）  
7月 3日 事務所の消毒実施  
7月 8日 他従業員7名全員のPCR検査(陰性)  
**7月 9日 事業所を再開**
- ・デューン荻窪 7月30日 **従業員1名**がPCR検査実施(出勤停止)  
8月 1日 上記従業員の陽性判明  
**訪問業務を停止**（事前措置）  
8月 3日 上記従業員以外の濃厚接触者なし  
**訪問業務を再開**（管轄保健所の指示）

## 3. 業績への影響

- ・休止は2事業所、期間も短かったため、業績に与える影響は限定的
- ・全体では、感染拡大の4月～5月にキャンセルが増加し、件数減少も、6月には回復



<コロナによるキャンセル>

利用者数 約▲650人

訪問件数 約▲4,550件

※不安感から臨時訪問を要請される場合もあり

## 4. 従業員に対する感謝金

- ・目的 新型コロナウイルス感染症の感染拡大下において、感染リスクの中、通常の業務へ従事した従業員に対する感謝の意を表するため。
- ・対象 全職種
- ・金額 ① 約32百万円（2020年6月実績）  
② 約54百万円（2020年12月実績）
- ・時期 ① 2020年6月に、賞与と合わせて支給  
② 2020年12月に、賞与と合わせて支給

単位：百万円

科目	2017年	2018年	2019年	2020年12月	対前期末		増減要因
					差額	比率	
資産	2,976	3,258	3,594	4,084	490	114%	*現金及び預金の増加：367百万円 *売掛金の増加：158百万円 *ソフトウェア(仮勘定含む)の減少：▲20百万円 *繰延税金資産の減少▲25百万円
流動資産	2,450	2,699	2,976	3,509	532	118%	
固定資産	526	559	618	575	▲42	93%	
負債	1,022	1,121	1,422	1,570	148	110%	*未払金の増加：67百万円 *未払法人税等の減少：▲33百万円 *預り金の増加：16百万円 *退職給付引当金の増加：92百万円
流動負債	960	1,012	1,235	1,293	57	105%	
固定負債	62	109	187	277	90	148%	
純資産	1,954	2,136	2,172	2,513	341	116%	*当期純利益の計上：406百万円 *利益剰余金配当支払：▲64百万円
利益剰余金	714	887	1,022	1,364	341	133%	
1株当たり純資産(円)	150.32	164.46	168.53	195.08			
自己資本比率	65.6%	65.6%	60.4%	61.5%			

拠点数	全国	東日本																	西日本	西日本																														
		北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	長野	新潟		富山	石川	福井	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	
TOTAL	217	94	5	1	2	4	1	1	2	1	3	1	15	9	37	6	1	2	3	123	1	1	1	1	1	8	2	1	5	34	3	3	1	1	1	7	7	2	1	2	2	2	11	3	3	6	4	4	3	2
事業所	200	82	5	1	2	4	1	1	2	1	3	1	15	6	28	6	1	2	3	118	1	1	1	1	1	7	2	1	5	30	3	3	1	1	1	7	7	2	1	2	2	11	3	3	6	4	4	3	2	
サテライト	17	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

第1四半期の開設拠点

開設月	住所	名称
2020年1月	東京都練馬区	デューン練馬 中村橋営業所
2020年3月	仙台市青葉区	デューン青葉
2020年3月	香川県高松市	デューン栗林

第2四半期の開設拠点

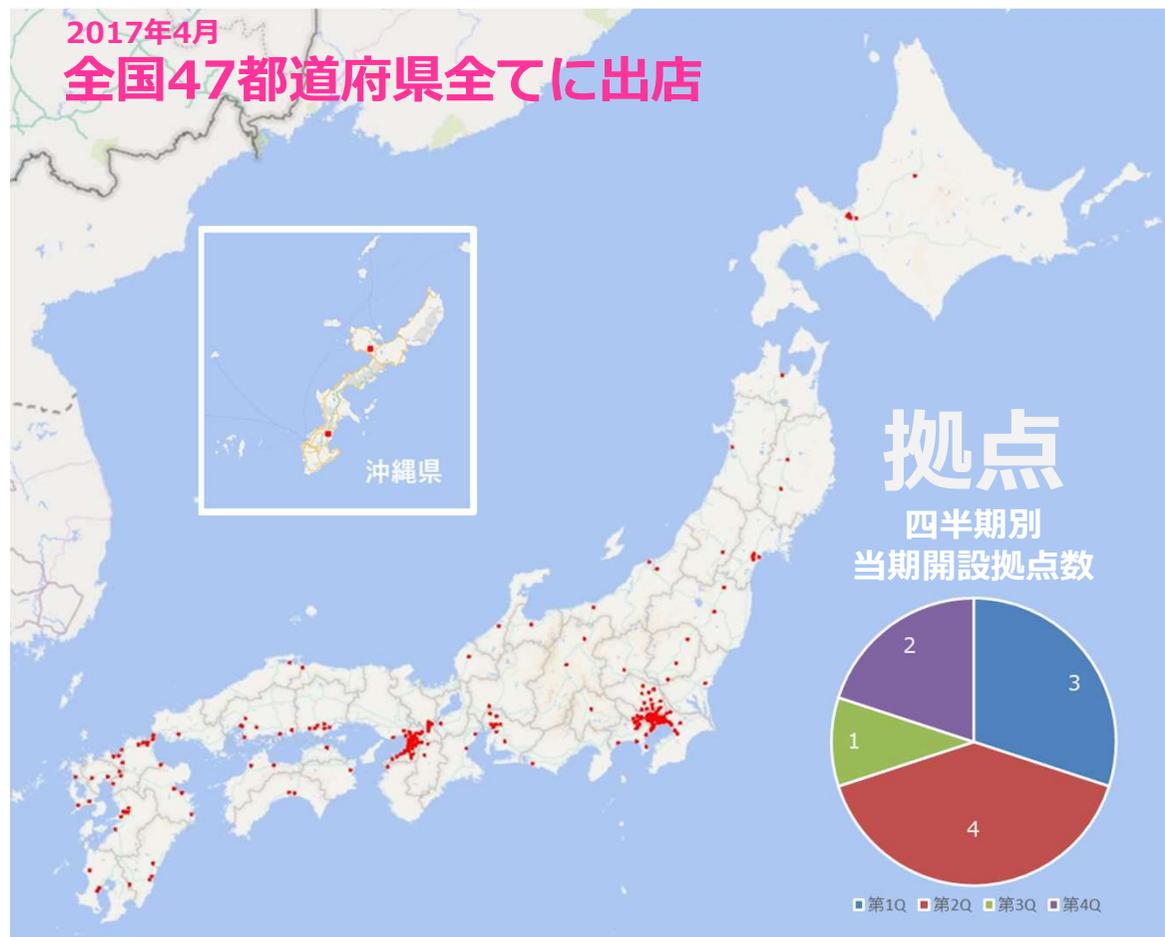
開設月	住所	名称
2020年5月	埼玉県川口市	デューン東川口
2020年6月	新潟県上越市	デューン上越
2020年6月	高知県南国市	デューン南国
2020年6月	岡山県倉敷市	デューン倉敷西

第3四半期の開設拠点

開設月	住所	名称
2020年8月	愛知県小牧市	デューン一宮 小牧営業所

第4四半期の開設拠点

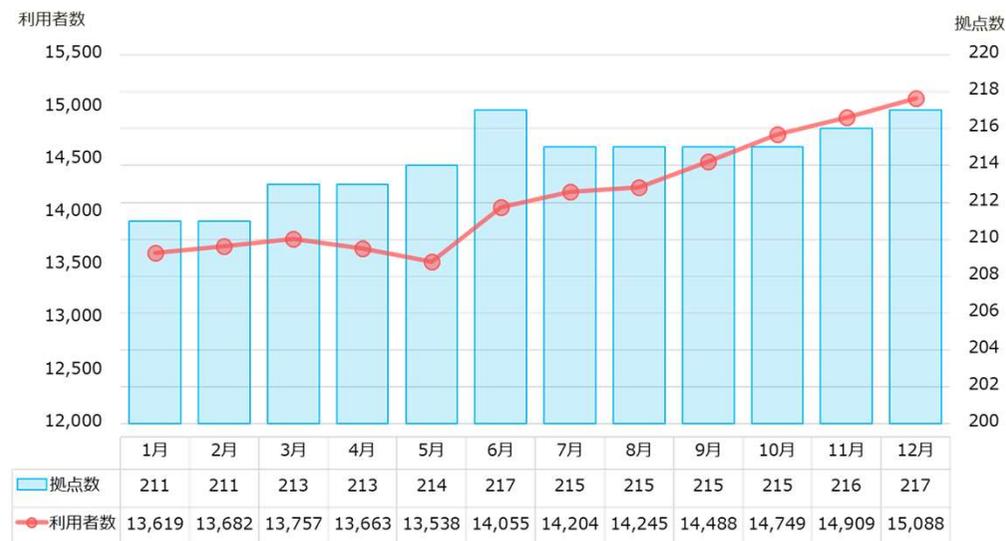
開設月	住所	名称
2020年11月	大阪府八尾市	デューン東大阪 八尾出張所
2020年12月	三重県津市	デューン津



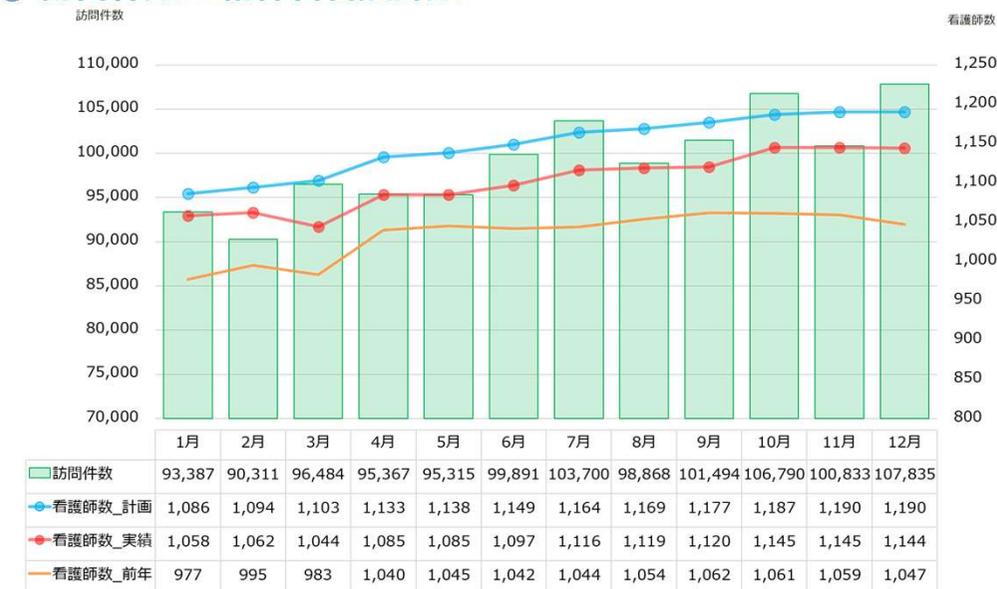
① 訪問件数 × 稼働 (精神科看護師一人当たり訪問件数) ※OT含む



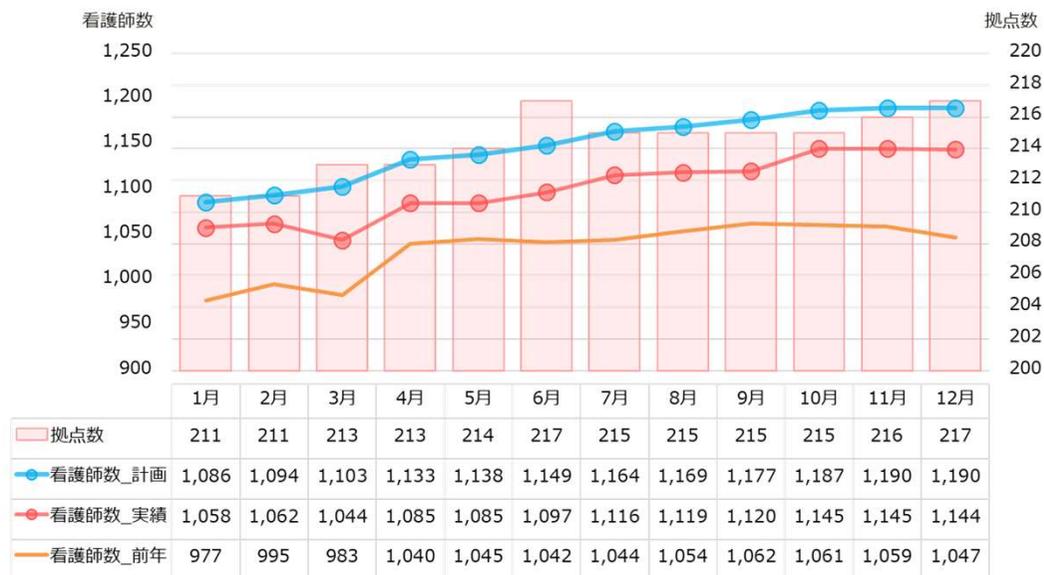
② 拠点数 × 利用者数



③ 訪問件数 × 精神科看護師数 ※OT含む



④ 拠点数 × 精神科看護師数 ※OT含む



- ・ **株式会社CHCP-HN**（以下、公開買付者という）による当社普通株式の公開買付け。
- ・ 公開買付者による当社の**完全子会社化**を企図されたものであり、当社株式が**上場廃止**となる予定。
- ・ 完全子会社化により、**ユニゾン・キャピタル・グループ**（以下、**ユニゾン**という）と**株式会社地域ヘルスケア連携基盤**（以下、**CHCP**という）**グループ**の傘下に入る。
- ・ 買付け等の価格は、普通株式1株につき**金1,200円**。

＜当社株式に対するプレミアム＞	前営業日	<b>44.58%</b>
	1ヶ月平均	<b>43.37%</b>
	3ヶ月平均	<b>45.81%</b>
	6ヶ月平均	<b>61.51%</b>

- ・ 買付予定数の下限は、**8,617,000株**（上限：なし）。
- ・ 今後の**当社の発展**及び**企業価値の更なる向上**が可能になるとの結論に至り、本公開買付に賛同する旨の意見表明と応募を推奨。

※「株式会社CHCP-HNによる当社株券等に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」をご参照ください。

名称	株式会社CHCP-HN（公開買付者）	
代表者の氏名	代表取締役 国沢 勉	
事業内容	1. 経営上必要と認められる他の会社の株式保有及び事業への投資 2. 前号に付帯関連する一切の業務	
設立年月日	2020年12月24日	
大株主 及び 持株比率	株式会社CHCPホームナーシング	100%

CHCP グループ	株式会社地域ヘルスケア連携基盤（CHCP）	<CHCPグループが目指しているもの> ・ヘルスケアプラットフォームの構築 ・医療機関や調剤薬局等の経営を支援 ・調剤薬局グループ 111店舗を300店舗に 病院グループ 3病院を30病院に  <当社への今後の関わり方> ・当社の医療の質と事業の成長を支援 ・精神と一般の訪問看護の総合的な展開 ・従業員が様々な場所で活躍できる環境
	株式会社CHCPホスピタルパートナーズ	
	株式会社CHCP-HP	
	株式会社CHCPファーマシー	

ユニゾン	投資実績	合計約8300億円（企業価値ベース累計）	
	注力先	ヘルスケア領域	製薬企業への投資に加え、2017年にCHCPを設立

## 背景

- ・ 高齢化の進展を背景に市場規模が拡大している一方で、**看護師等の人材確保**やそれに伴う**人件費の増加**への対応が必要。
- ・ **介護（診療）報酬改定に左右されにくい**ビジネスモデルの構築が重要。
- ・ 短期的な業績変動に左右されることなく、持続的な企業価値向上を実現するためには、**外部パートナーとの提携**が有用であると認識していた。

## 効果

- ・ ユニゾン及びCHCPグループがヘルスケア領域において蓄積してきたノウハウや人材ネットワークの活用で、**当社の発展**及び**企業価値の更なる向上**が可能。

### <期待される効果>

- ・ 看護師等の**人材確保**、**CHCPグループ内での連携による人材流出防止**
- ・ より質の高い訪問看護サービスの提供ができる**人材の育成**
- ・ CHCPグループの支援先病院との連携による**医療分野への進出**
- ・ **資金調達力**や**財務基盤**の強化

	介護保険	医療保険	精神科特有
サービス利用者の条件	主治医により訪問看護が必要と判断された方で、 1. 65歳以上で要支援・要介護と認定された方 2. 40歳以上65歳未満は16特定疾患の方で、要介護と認定された方	患者様本人の意思があり、主治医により訪問看護が必要と判断された患者様であって、医師から訪問看護指示書が出された場合	精神科を標榜する保険医療機関の精神科担当医師の指示書が出された場合
保険料の納付	40歳以上の方全員 収入に応じた保険料を給与天引きで納付。 (65歳以上は年金天引きもしくは口座振替)	収入に応じた保険料を給与天引きで納付。 (国民健康保険の場合は口座振替等で納付)	
保険からの支給限度額	あり 要介護度によって支給限度額が設定	なし	
サービス利用時の自己負担	原則、利用額の1割 (支給限度額を超える分は自己負担)	年齢によって利用額の1割～3割  自立支援医療制度適用により、 1. 健保・後期高齢・国保は一律1割負担 2. 生活保護は負担なし	
保険給付対象利用時間及び回数	支給限度額で収まる回数 (他のサービスの利用料によって使える回数は変動) 一回の訪問で30分から最大90分まで	通常は週に1～3回 一回の訪問で30分から最大90分 (医療依存度の高い者は週1回のみ90分を超える長時間訪問看護可)	退院後3ヶ月以内の期間は週5回可 30分未満の短時間訪問可
利用手続き	①市区町村に利用を申請 ②認定調査や審査・判定を経て要介護認定を受ける ③医師の判断の上、訪問看護指示書を交付 ④サービス事業者と個別契約	①医師の判断の上、 <u>(精神科)訪問看護指示書</u> を交付 ②サービス事業者と個別契約	



株式会社N・フィールド

(証券コード6077)

管理本部 経営管理部

TEL : 06-6343-0600

FAX : 06-6343-0601

WEB : <http://www.nfield.co.jp/>

本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報を基になされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因により、これら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性がございます。